

(6) NHK 全国音楽合唱コンクールで活躍

本校には、昭和 47 年、50 年、52 年「NHK 合唱コンクール最優秀校」の素晴らしい記録が残っている。当時の音楽科は 井内光子先生が一人で全学年を担当し、音楽部という部活動も担当されていた。その活動の母体は「音楽部」という部活動で、コンクールの時期には合唱部、学校行事の時期には吹奏楽部として、多彩な活動を行っていた。音楽部のほとんどは女子生徒によって構成されていたが、合唱コンクールが夏休みの最後に行われることから、総体で部活動を終えた 3 年生の男子生徒も加わり、混声合唱が編成



されていた。合唱の活動が最もピークを迎えるのは夏休みからで、3～4 時間は毎日休みなしで練習が行われ、パート練習やハーモニーづくりの練習が徹底して行われたそうだ。ハーモニーをしっかりと身につけるための、パート一人ずつによるテープ録音練習などは、かなり緊張を要する練習だったようだが、井内氏自らの模範歌唱による指導や、細かい専門的な指導はとても魅力があったと、当時の生徒からお聞きすることができた。特に伴奏を担当する生徒は、合唱練習日以外に特別練習日程が組まれており、合唱する側は「あれだけ伴奏が頑張っているのだから私たちもしっかりしなければ」という気持ちになったそうだ。3 年生男子の合唱参加も、「毎年の伝統を自分たちも引き継ぎたい」という気持ちや「勉強と両立しながら、自分の青春を合唱にぶつけてみたい」という気持ちで補習をおいての練習にも熱が入っていたようだ。

当時は、学校行事の中でも音楽が大変盛んで、この音楽部の活動だけでなく、全校合唱や全校生徒によるリコーダー合奏なども行われていた。卒業式中の BGM すべてが生徒による音楽で演奏されたことから、いかに音楽活動が盛んに行われていたか窺えることと思う。

(7) 「校訓碑・日本一記念碑」 できる

2 年計画の改築工事が完成して鉄筋 4 階建ての普通教室、特別教室、管理棟の校舎が竣工した。内容設備の充実については、坂野中学校校舎改築完成記念事業協賛会より多大な寄付金、物品のご寄贈を賜わり、新校舎にふさわしい内容設備が整備された。それを機会に、新校舎の正面、玄関前に校訓の碑ができあがった。

昭和 56 年 6 月 3 日午前 9 時より、佐藤教

